

取扱説明書

Instruction Manual

インキュベーター(プログラム仕様)

1-7474-31,32 EIP-300V, 450V
1-9384-31,32 EIP-600V, 700V

目次

- P 1…表紙
- P 2…安全上のご注意
- P 3…製品設置時の注意事項
- P 4…操作運転時の注意事項
- P 5…保守点検とお手入れについて
- P 6…製品概要
- P 7…操作パネル説明
- P 8…モード移行フロー
- P 8…運転モード一覧
- P 9…運転設定モード
- P10…定値運転設定モード&RUN モード
- P11…プログラム運転設定モード&運転
- P14…製品仕様
- P14…エラーメッセージと対応方法
- P15…トラブルの原因と対策
- P16…製品保証について



EIP-300V

お買い上げありがとうございます。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品をより安全に、また良好な状態でご使用いただくために『取扱説明書』をお読みになって、正しくお使い下さい。





『取扱説明書』をお読みになった後は、お使いになられる方がいつでも見られるところに大切に保管して下さい。また、製品を譲渡されたり、貸与されるときには新しく使用者となられる方が安全で正しい使い方を知るために『取扱説明書』を製品本体の目立つところに添付して下さい。

アズワン株式会社











安全上のご注意

この取扱説明書では製品を安全に正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐため、安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますので、これらの指示に従って安全にご使用いただくようお願いいたします。

警告表示とその意味





| | |
|---|---|
|  危険 | 誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる事が想定される場合。 |
|  警告 | 誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険性が想定される場合。 |
|  注意 | 誤った取扱いをすると、傷害を負う危険および物的損害のみの発生が想定される場合。 |
|  お願い | 安全を確保するために注意が必要な事項 |




安全確保の図記号

| | |
|---|-----------------------------------|
|  | 製品の取扱いにおいて、一般的な注意、禁止事項を示す。 |
|  | 製品の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示す。 |
|  | 特定の条件において、感電の可能性を示す。 |
|  | 安全アース端子付の製品の場合、使用者にアース線の接続の指示を示す。 |
|  | 使用者に対し指示に基づく行為を強制する。 |
|  | 製品を分解および改造することで感電などの傷害が起こる可能性を示す。 |
|  | 製品の特定部分に指を挟み込む可能性の注意を示す。 |
|  | 特定の条件において、製品の転倒による傷害の可能性の注意を示す。 |
|  | 特定の条件において、高温による傷害の可能性を示す。 |
|  | 特定の条件において、破裂の可能性の注意を示す。 |

製品設置時の注意事項



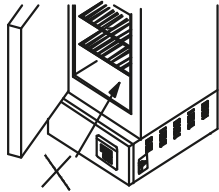
安全にお使いいただくために下記事項をお守り下さい。



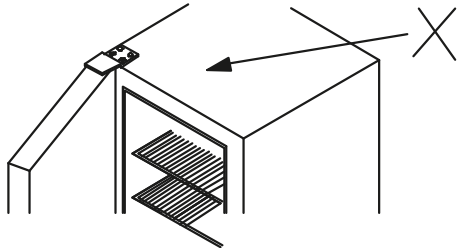

|  危険 | |
|---|--|
|  禁止事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●爆発性・引火性雰囲気中では使用しないで下さい。本製品は防爆仕様ではありません。 スイッチの入り切りの時に火花が発生し、火災の原因となります。 ●水平な場所に設置して下さい。思わぬトラブルや故障の原因となります。 ●本製品はマイクロコンピューターを使用しています。電氣的なノイズの多い場所では温度調節器が暴走して制御不能となり、大きな事故や故障の原因となります。 ●設置の際は必ず定格電源電圧、周波数、容量に合ったコンセントを使用して下さい。分岐ソケットやテーブルタップは使用しないで下さい。火災や感電事故の原因となります。 ●本製品は研究用途向けの商品です。絶対に調理や衣類の乾燥等には使わないで下さい。（研究用途のみに限る）思わぬ事故の原因となります。 |
|  アース線接続 | <ul style="list-style-type: none"> ●この製品の電源電圧はAC100Vです。電源電圧が異なると、火災や故障の原因となります。 ●感電防止のため、必ずアース線を接地して下さい。（アース端子付きコンセントを使用して下さい） |
|  感電注意 | <ul style="list-style-type: none"> ●設置の際、電源コードにほこりや水分が付着しないことを確認して下さい。故障や感電、火災の原因となります。 ●電源コードは傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用したり、重たい物を乗せたり、挟み込んだり高温部に近づけたりしないでください。 ●電源コードは濡れた手で抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。 |





|  注意 | |
|---|--|
|  禁止事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●本製品は室内使用を前提に作られています。屋外や水のかかる場所では使用しないで下さい。 ●周囲温度が5～35℃以内の場所に設置して下さい。異常に多湿な環境には設置しないで下さい。 ●直射日光や暖房器具の近くでは使用しないで下さい。十分に能力を発揮できなくなる他、故障の原因となります。 |
|  強制事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●埃が少なく、風通しの良い場所に設置して下さい。また、使用時は室内の換気を定期的に行ってください。 ●製品の性能を維持するために製品の左右、背面は約30cm、天井からは約60cm以上のすき間を空けて下さい。 ●専門知識を有する人の指示のもとにお使い下さい。 |

操作運転時の注意事項




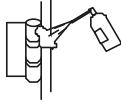
安全にお使いいただくために下記事項をお守り下さい。



|  危険 | |
|---|---|
|  禁止事項 | <ul style="list-style-type: none">● 有機溶剤などの引火性物質を入れないで下さい。運転中は庫内が高温になりますので庫内で気化し、引火・爆発する恐れのあるものは入れないで下さい。爆発性の物質としては、硝酸エステル、ニトロ化合物等、引火性の物質としては過酸化塩類、無機過酸化物、硝酸塩類、有機溶剤等があります。● 本製品はヒーターを使用しています。扉開放時にはヒーター、内槽や扉の内側には絶対に手を触れないで下さい。火傷の恐れがあります。● 吸排気口、窓(窓付きタイプの場合)製品の外郭に手を触れないで下さい。設定温度によっては高温になることがあります、火傷の恐れがあります。● 庫内底面には直接試料等を絶対に置かないで下さい。庫内温度が異常に高くなったり、試料の焼損や火災の原因となります。温度特性に影響を及ぼす可能性があります。 <p style="text-align: center;">底板使用禁止</p>  <ul style="list-style-type: none">● 扉を開けた状態では絶対に運転しないで下さい。温度調節機能が働かなくなり、火災の原因となります。● 試料を多量に入れないで下さい。火災の原因となります。試料をおく場合はスペースを空け、分散させて対流が妨げられないようにして下さい。● 可燃性物質は使用しないでください。樹脂等可燃物を乾燥させた場合に、設定温度によっては溶解し発火する恐れがあります。● 庫内にプラスチックや木などを入れないでください。溶けたり、燃えたりする恐れがあります。 |

|  注意 | |
|---|---|
|  禁止事項 | <ul style="list-style-type: none">● 腐食性の試料にはご注意下さい。庫内主要部にはSUS304を使用していますが、強酸等には腐食される恐れがあります。また、パッキンはアルカリ、オイル、ハロゲン系溶剤に腐食されることがありますのでご注意下さい。● 濡れた試料はそのまま庫内に入れしないで下さい。水気をしっかりと切ってから庫内に入れて下さい。またその場合は吸排気口は必ず開けて下さい。● 本体上面には物を載せないで下さい。設定温度によっては高温になることがあります、火傷の恐れがあります。   |

|  注意 | |
|--|---|
|  強制事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●本製品はヒーターを使用しております。扉を開けた状態でもヒーターは加熱状態にあるため、長時間の扉の開放や頻繁な開閉はできるだけ避けて下さい。閉めたあとにヒーターの余熱によるオーバーシュートの原因となります。このようなオーバーシュートを避けるためには扉開放時にRUN/STOPキーで運転を停止し、ヒーターを切ると効果があります。 |
|  高温注意 | <ul style="list-style-type: none"> ●使用中及び使用後しばらくは高温になりますので、庫内、窓（窓付きタイプの場合）、製品の外郭に触れないでください。 |
|  強制事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●小さいお子様が触れたり、使用したりしないようにしてください。 ●本機はヒーター機能を持った加熱商品です。未然の事故防止の為、ご使用の際は必ず無人運転を避けてください。 ●作業終了後はRUN/STOPキーで運転を停止し、主電源を切った後電源コードをコンセントから抜いてください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●本製品を最初にご使用される際に内槽が変色している場合がありますが、これは加熱により内槽の金属が変色したもので、製品の異常ではありません。 ●本製品付属のステンレス製棚板は新品を入れております。初回運転時に設定温度によっては熱で変色することがありますが、高温により表面が酸化したものであり、異常ではありません。 ●本製品を最初にご使用される際には庫内から煙・においが発生することがあります。これは製品に使用している断熱材のバインダーが加熱されたために発生するもので、製品の異常ではありません。 | |

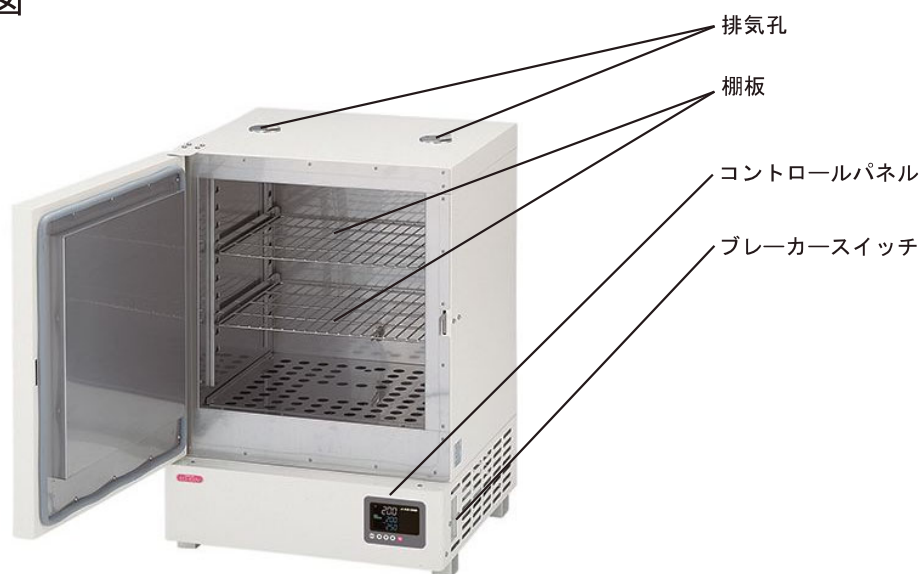
保守点検とお手入れについて

|  危険 | |
|---|---|
|  分解禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●製品が熱い間は、清掃・手入れはしないで下さい。必ず冷却後に行ってください。 ●分解・改造は絶対にしないで下さい。感電や破損の原因となります。また、分解・改造を行われた場合、保証の対象外となります。 |
|  強制事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●お手入れは主電源を切った後、電源コードを抜いてから行って下さい。 ●可動部分は定期的に市販の潤滑スプレー等で注油して下さい。ボルトやねじによるガタツキが生じた場合は締め直して下さい。ゆるんだままで使うと破損や転倒の恐れがあります。  |

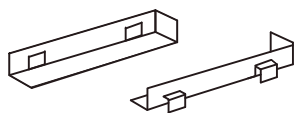
|  注意 | |
|---|--|
|  強制事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●作業が終了したら必ず清掃を行ってください。製品についての試料や薬品は必ず拭き取ってください。 ●しばらく使用しない場合はコンセントから抜いてください。 ●拭き取りは硬く絞った柔らかい布で拭いて下さい。また、取れにくい汚れは中性洗剤を使用し、乾いた布で拭き取ってください。 |

製品概要

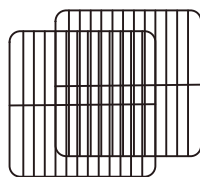
■ 製品全体図



■ 付属品



●棚板受け 左右×2組
(ステンレス SUS304)



●棚板×2枚
(ステンレス SUS304)

■ オプション

棚板セット (棚板 1枚 + 棚板受け左右 1組)

| 品番 | 型番 | 対応機種 | 耐荷重(kg) |
|-----------|--------|--------------------------------------|---------|
| 1-8999-12 | TAS450 | EI-450V/EIP-450V EI-700V/EIP-700V | 5 |
| 1-8999-13 | TAS600 | EI-600V/EIP-600V | |
| 1-8999-11 | TAS300 | EI-300V/EIP-300V | 15 |
| 1-8999-22 | THS450 | EI-450V/EIP-450V EI-700V/EIP-700V | |
| 1-8999-23 | THS600 | EI-600V/EIP-600V | |

操作パネル説明

■コントロールパネル部の名称



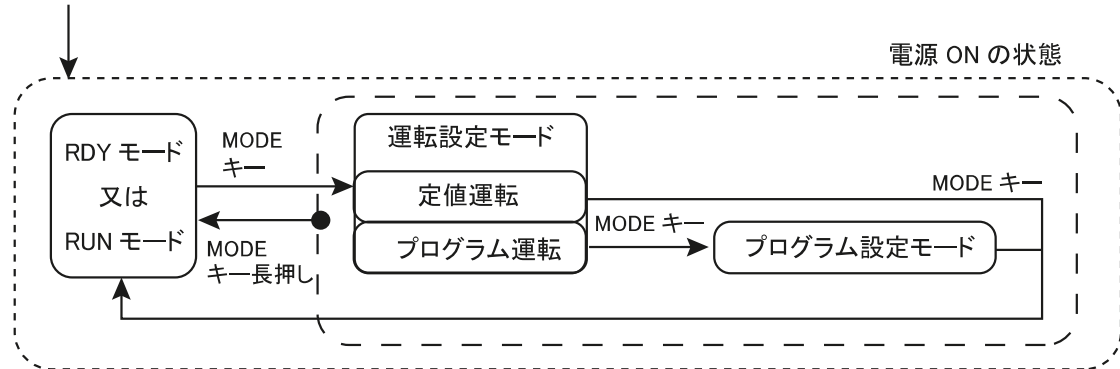
■各部の機能

| No | 名称 | 内容(機能) |
|----|-----------------|---|
| ① | 測定値表示部 (PV) | 現在の庫内温度値 / MODE / 設定値の名称 / エラーを表示します。 |
| ② | 設定値表示部 (SV) | 設定温度値 / 選択した運転設定 / 設定値 / エラーを表示します。 |
| ③ | 過昇防止設定表示部 (OHP) | 過昇防止設定温度 / エラーを表示します。 |
| ④ | MODE キー | モード移行 / 設定値確定に使用します。 |
| ⑤ | SHIFT キー | 設定値の変更に使用します。 |
| ⑥ | DOWN キー | 設定値の変更に使用します。 |
| ⑦ | UP キー | 設定値の変更に使用します。 |
| ⑧ | RUN/STOP キー | 運転の開始 / 一時停止 / 停止に使用します。 |
| ⑪ | RUN マーク | 運転中にモードによって点灯 / 点滅します。 |
| ⑫ | HEAT マーク | ヒーターが ON になると点灯します。 (温調動作にあわせて、点灯 / 点滅 / 消灯します。) |
| ⑬ | AT マーク | オートチューニング実行中に点灯します。(本商品では使用しません。) |
| ⑭ | ALM マーク | エラー発生時に点灯します。 |
| ⑮ | OFF.T マーク | タイマー運転中に点灯 / 点滅します。(本商品では使用しません。) |
| ⑯ | ON.T マーク | タイマー運転中に点灯 / 点滅します。(本商品では使用しません。) |
| ⑰ | STEP マーク | プログラム運転中にステップを表示します。 |
| ⑱ | PAT マーク | プログラム運転中にパターンを表示します。 |

モード移行フロー

電源投入（ブレーカを ON にしてください。）

初期表示（液晶が全灯した後に、本製品の型番が表示されます。）



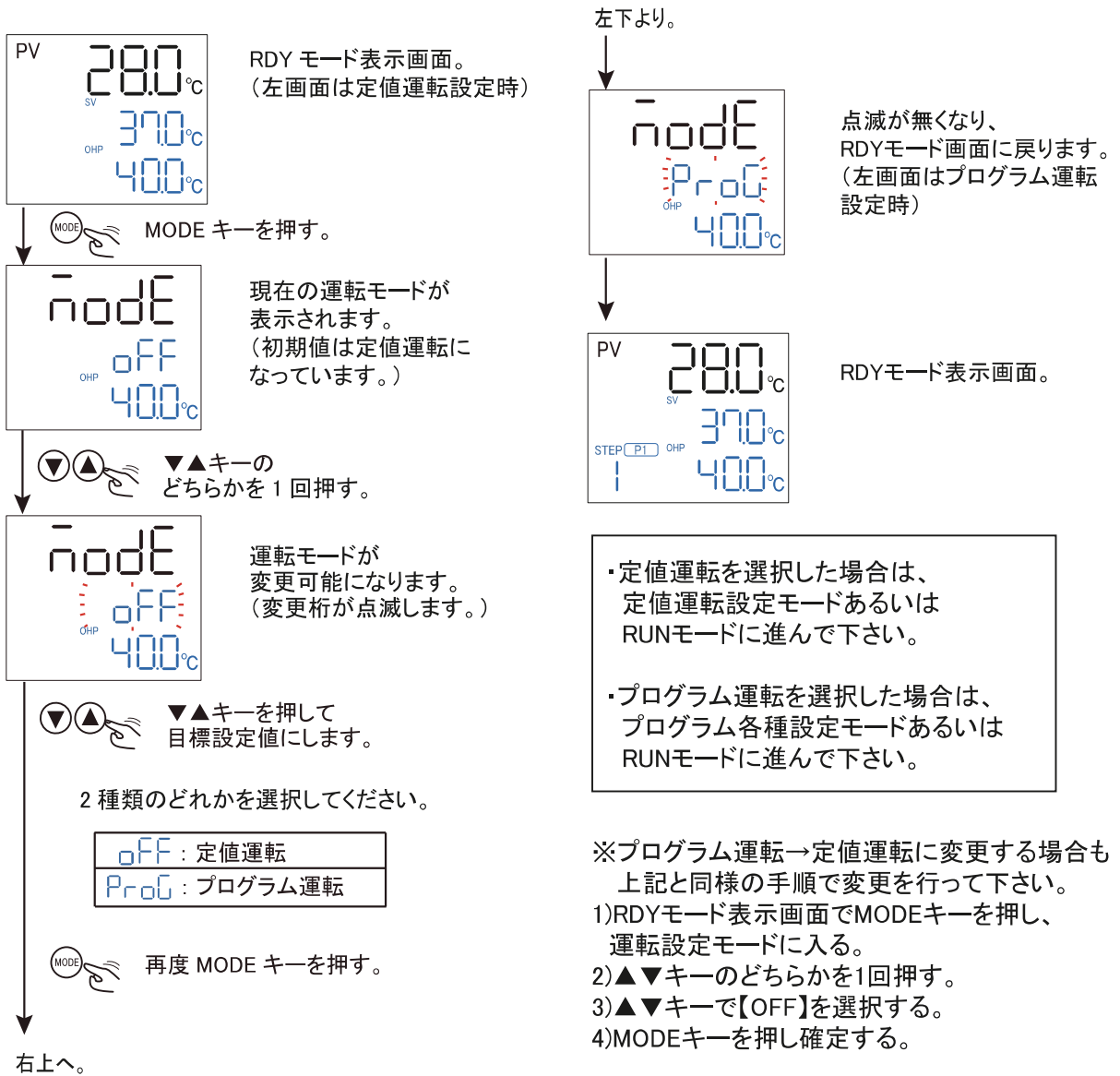
運転モード一覧

本製品は以下の運転モードが選択できます。用途に合わせて使い分けてください。

| 運転モード | 温調の様子（グラフ） | 説明 |
|-------------|----------------------------------|--|
| (1) 定値運転 | | <p>設定した温度で運転開始し、一定の温度で運転し続けます。</p> <p>運転開始・停止は 手動で RUN/STOP キーを押して行います。</p> |
| (2) プログラム運転 | <p>上画は 7 ステップのプログラム設定した場合です。</p> | <p>昇温時間 / 保持時間 / 設定温度を各ステップで設定します。 8 ステップ / 4 パターンのプログラム運転が可能です。</p> <p>STEP1 : Sv1 まで t1 時間で昇温 STEP2 : Sv1 で t2 時間を保持 STEP3 : Sv2 まで t3 時間で昇温 STEP4 : Sv2 で t4 時間を保持 STEP5 : Sv3 まで t5 時間で昇温 STEP6 : Sv3 で t6 時間を保持 STEP7 : Sv4 まで自然冷却 / Sv4 まで到達後 t7 時間を保持 プログラム終了後、ヒーター OFF し自然冷却します。</p> |

運転設定モード

定値運転 / プログラム運転 を設定します。



注意

- ・各種設定画面を表示中に30秒間無操作の場合、点滅から点灯に変わりRDYモードへと移行します。また設定値を変更中の場合には変更中の設定値を自動保存します。(ただし変更値が点滅中の場合はこれに限りません。)
- ・設定中にMODEキーを長押しすることで、RDYモードに移行します。

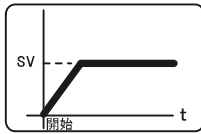


お願い

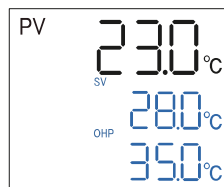
誤操作、設定ミス避けるために試料を入れない状態で、低い温度、短い時間での試運転を行ってください。その際、温調がSTARTするか、またはOFFになるか、を必ず確認してください。

定値運転設定モード & 運転

設定値 (SV) / 過昇防止温度 (OHP) を設定します。



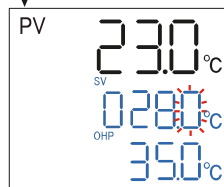
設定した温度で運転開始し、一定の温度で運転し続けます。
運転開始 / 停止を手動で RUN/STOP キーを押して行います。



定値運転RDY モード
※SV値表示部で
SV値とStoPが交互に
表示されます。



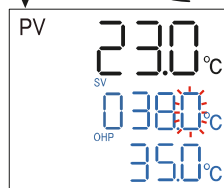
▼▲キーの
どちらかを1回押す。



設定値 (SV) が
変更可能になります。
(変更桁が点滅します。)



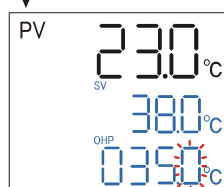
▼▲、SHIFT キーを押して
目標設定値にします。



左画は38.0°Cに設定した
場合です。



MODE キーを押して決定します。



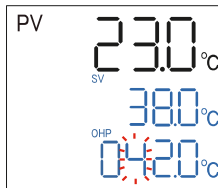
過昇防止温度 (OHP)
が変更可能になります。
(変更桁が点滅します。)



▼▲、SHIFT キーを押して
目標設定値にします。

右上へ。

左下より。

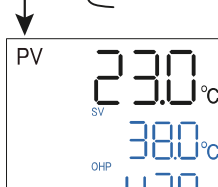


※過昇防止の温度設定は
設定温度に対して十分余裕の
ある温度設定にしてください。

左画は 42.0°C に設定した
場合です。



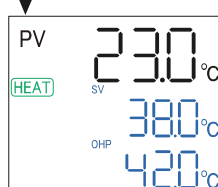
MODE キーを押して決定します。



RDY モードに戻ります。
※SV値表示部で
SV値とStoPが交互に
表示されます。



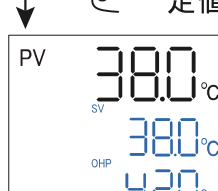
RUN/STOP キーを押して
定値運転を開始します。



HEAT ランプが点灯し
温調が開始します。



RUN/STOP キーを押して
定値運転を停止します。



RDY モードに戻ります。
HEAT ランプは消灯します。



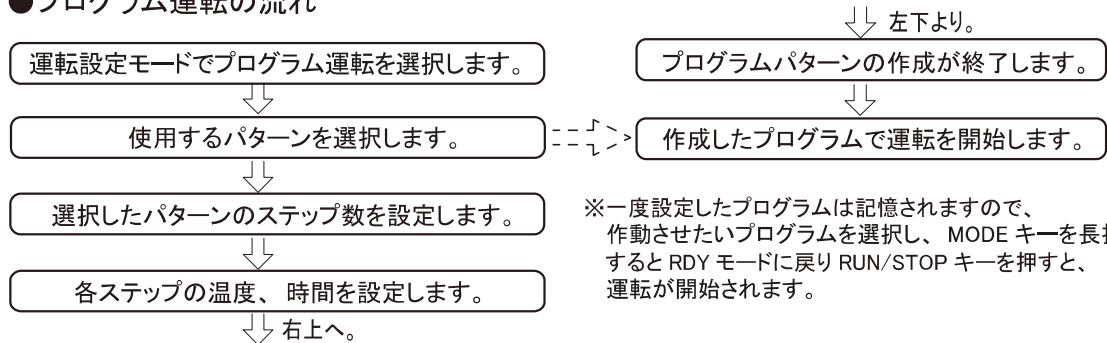
過昇防止に
ついての
注意事項

- 本製品の特性上、設定温度でヒーター OFF であってもヒーターの余熱により、庫内が設定温度以上に上がる（オーバーシュート）可能性があります。試料保護を目的とされる場合は必ず事前に作動温度及びオーバーシュート量を確認の上、ご使用ください。
- 過昇防止温度の設定に際しては、センサーの誤差や取付位置の違い等による誤作動を防止するために、設定温度に対して十分余裕のある高めの温度設定にしてください。（目安：設定値に対して少なくとも 10% 以上高め）
運転開始時の温度が安定するまでは、過昇防止温度を高めに設定していただき装置が設定温度で安定した後に過昇防止温度を希望温度に再設定してください。

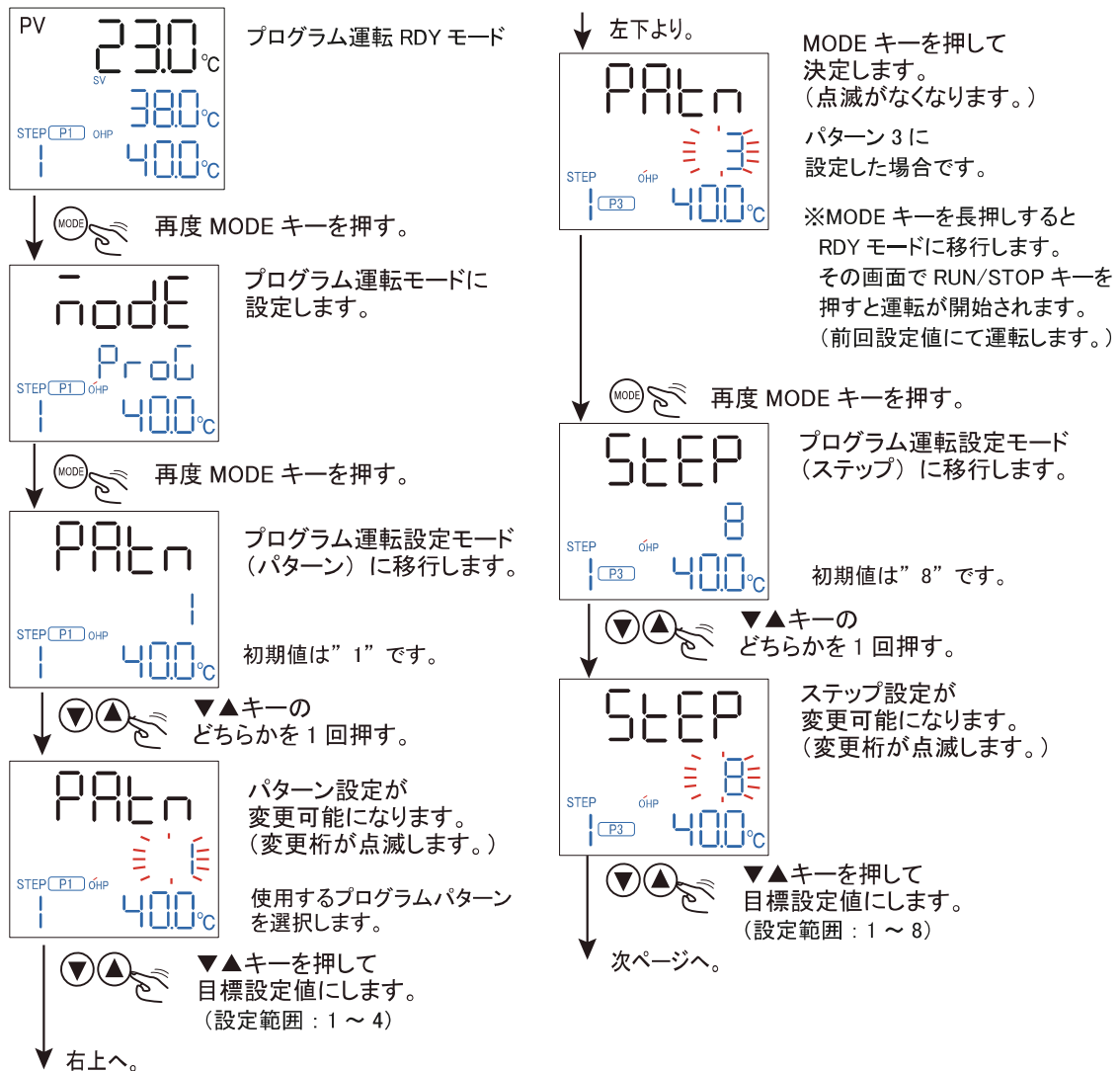
プログラム運転設定モード&運転

本製品は最大8ステップのプログラムを4パターン記憶し、必要なパターンを選択することができます。各ステップは設定時間内で昇温及び一定温度での制御に割り当てることができます。

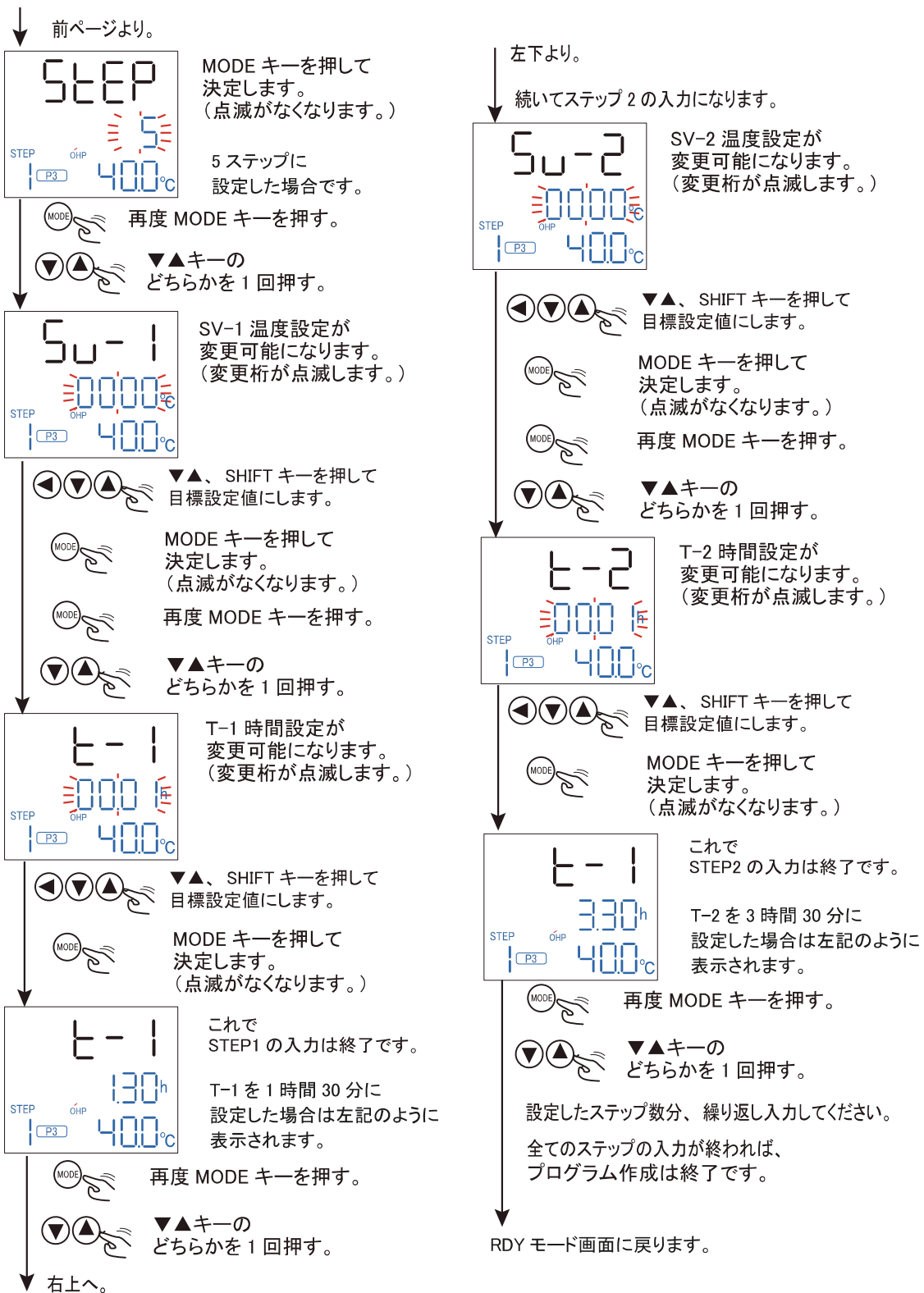
●プログラム運転の流れ



■プログラム運転設定方法

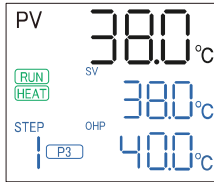


プログラム運転設定モード&運転



プログラム運転設定モード&運転

全ての設定が完了しRUN/STOP キーを押すとRUN モードになりプログラム運転が開始されます。



＜プログラム運転中のマーク表示＞

プログラム運転中はRUNマークが点滅し、
 温調機能が作動している間HEAT マークが点灯/点滅します。
 (温調が止まるとHEATマークは消灯します。)

| | |
|---------|--------------------|
| STEPマーク | 現在作動中のステップ数を表示します。 |
| PATマーク | 選択したパターンを表示します。 |

- 各種設定画面を表示中に30秒間無操作の場合、点滅から点灯に変わりRDYモードへと移行します。また設定値を変更中の場合には変更中の設定値を自動保存します。
 (ただし変更値が点滅中の場合はこれに限りません。)

- 設定中にMODEキーを長押しすることで、RDYモードに移行します。

- 運転中、過昇防止温度の変更が可能です。以下の手順を踏んでください。

- 1)UP/DOWNキーを1回押す
- 2)MODEキーを1回押す
- 3)OHP値が点滅するので変更する
- 4)MODEキーを1回押し確定させる

※1)の時にSV値が点滅しますが、プログラム運転モードのSV値ではなく「定値運転モード」のSV値です。
 この時にSV値を変更してもプログラム運転の設定は変更しません。

- 運転中にRDYモード画面にてRUN/STOPキーを1回押すとRUN表示は消灯し、一時停止状態となります。
 本機能はタイマー積算を一時的に止めるものであり、ヒーターに対する制御/出力は止まりません。
 (想定しない停止により試料への影響を防ぐための仕様です)

一時停止状態で再度RUN/STOPキーを 1回押すと続きから運転を開始します。



※ヒーター自体の出力をお切りになりたい場合は、
 下記手順にて運転自体を停止させてください。

- 運転中にRDYモード画面にてRUN/STOPキーを3秒以上押すと、運転を強制終了します。
 RUN表示は消灯します。



- 運転中は時間経過につれてStep表示が変化します。設定温度に到達していなくても
 時間経過と共に次のStepに移行しますので、設定温度や時間設定を考慮のうえ設定してください。

- 運転中にMODEキーを1回押すとSV表示部にその瞬間のSV値が表示されます。

(SV値は時間経過とともに変化します。)

この時Step表示部が点滅します。

さらにMODEキーを1回押すと現在のパターンにおけるプログラム運転設定モードへ移行します。
 MODEキーを長押しすることでプログラム運転中の通常画面へ戻ります。



注意

誤操作、設定ミスを避けるために、試料を入れない状態で、低い温度、短い時間での試運転を行ってください。その際、温調が開始するか、または終了になるか、を必ず確認してください。



注意

- ・タイマーの時間設定は最小1分～最大99時間59分までの1分刻みです。
- ・昇温の設定時間が短すぎると設定温度に到達しないで、次のステップに移行します。
 設定温度は昇温能力を考慮の上、設定してください。[仕様表を参考にしてください。]
 ※庫内の対象物によっては性能(昇温能力)は変化します。
- ・昇温ステップの時間設定によっては、5°C程度のオーバーシュートが発生する可能性があります
 がありますのでご注意ください。
- ・終了動作設定を「1」に設定した場合は、最終ステップの温度設定で継続しますので、
 ご注意ください。

製品仕様

| 型番 | EIP-300V | EIP-450V | EIP-600V | EIP-700V |
|--------------|--|-----------------|-----------------|-----------------|
| 温度制御範囲 | 室温+5~80°C | | | |
| 最高温度到達時間(目安) | 約20分 | 約15分 | 約20分 | |
| 温度分布精度 | ±0.6°C(at 37°C) | ±0.7°C(at 37°C) | | ±0.9°C(at 37°C) |
| 温度変動 | ±0.6°C(at 37°C) | ±0.4°C(at 37°C) | | |
| 温度勾配 | 2.0°C (at 37°C) | 2.4°C (at 37°C) | 2.2°C (at 37°C) | 4.1°C (at 37°C) |
| 温度制御方式 | PID制御、SSR出力 | | | |
| 付加機能 | プログラム仕様・エアジャケット自然対流式→最大8ステップ×4パターンのプログラム機能 | | | |
| 過昇温防止設定範囲 | 0~90°C | | | |
| 安全装置 | 独立式過昇温防止装置(動作温度デジタル設定可能)・過電流ブレーカー・ バーンアウト機構(センサー断線時ヒーターOFF) | | | |
| ヒーター容量 | 200W | | 300W | |
| 温度センサー | 白金測温抵抗体Pt100Ω | | | |
| 過昇防止センサー | K熱電対 | | | |
| 棚ピッチ・段数 | 35mmピッチ・7段 | 35mmピッチ・11段 | 35mmピッチ・13段 | 35mmピッチ・18段 |
| 外装/内装 | スチール粉体塗装/SUS304 | | | |
| 排気口 | φ32mm×1個 | | | |
| 外寸法 | 400×410×685mm | 550×540×835mm | 700×610×885mm | 550×540×1085mm |
| 庫内寸法 | 300×300×300mm | 450×430×450mm | 600×500×500mm | 450×430×700mm |
| 庫内容量 | 約27L | 約87L | 約150L | 約135L |
| 棚板寸法 | 275×260mm | 425×360mm | 575×430mm | 425×360mm |
| 重量 | 約30kg | 約40kg | 約50kg | 約45kg |
| 電源 | AC100V 50/60Hz コード長:2m(3Pプラグ) | | | |
| 定格電量 | 2.5A | | 3.5A | |
| 棚板耐荷重 | 15kg | | | 5kg |
| 付属品 | 棚板×2枚・棚板レール×2組 | | | |

●本製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

エラーメッセージと対応方法

| 表示 | エラー名 | 内容 | 復帰方法 |
|------|-----------------|--|--|
| HHHH | 温度入力 オーバーエラー | 温度入力が表示範囲上限を 超えた場合に発生し、運転を 停止します。 | 温度入力が表示範囲内へ 戻ると自動復帰します。 復帰しない場合は 点検・修理の必要があります。 電源ブレーカをOFFにして、 販売元にご連絡ください。 |
| LLLL | 温度入力 アンダーエラー | 温度入力が表示範囲下限を 下回った場合、Ptセンサーが短絡の 場合に発生し、運転を停止します。 | |
| oPEr | ヒーター断線 エラー | ヒーター断線、異常が疑われる 場合に発生し、運転を停止します。 | 点検・修理の必要があります。 電源ブレーカをOFFにして、 販売元にご連絡ください。 |
| ouEr | 過昇防止 エラー | 過昇防止が作動した場合に警告し、 ヒーター出力を遮断します。 (HEAT表示に関わらず遮断。 電源OFFまで作動します。) | 電源をOFFにし、温度が十分 下がったことを確認のうえ 電源を再投入してください。 |
| tSEr | 時間設定 エラー | 時間設定時に動作時間を 無しに設定(00:00)し、 運転した場合に発生します。 | 設定を再確認し、 設定時間を00:01以上にして ください。 |

●上記以外エラーメッセージが出る場合 (Err1 他) は基板内部のエラー・故障の可能性が
あります。電源の再投入で改善されない場合は修理の必要がありますので、購入された
販売代理店または弊社修理窓口までご相談下さい。

トラブルの原因と対策



以下に示すようなトラブルが発生した場合の原因として次のような事項が考えられますので対策欄を参考に操作、対処をお願いします。

尚、以下原因欄には考えられるおおよその原因事項を挙げてありますが、これらがすべての原因を示しているわけではありません。対策欄の操作では対処できない場合はすぐに運転を中止し購入された販売代理店までご相談下さい。

| | |
|-------------|---|
| 設定温度で安定しない。 | 原因：庫内に物を詰め込みすぎている。 対策→空気の流れがよくなるよう、間隔をあけて試料を配置して下さい。 |
| | 原因：センサーが温度を正確に測定していない。 対策→試料はセンサーから離しておいて下さい。 |
| | 原因：扉の開閉時間が長い、頻度が高い。 対策→出来るだけ開閉時間は短く、頻度も少なくして下さい。 |
| | 原因：庫内のセンサー異常。 対策：庫内奥に温度センサーがありますので、センサー回りは広く開け、正確な庫内温度を測定できるようにして下さい。 |
| 温度上昇しない。 | 原因：ヒーターが断線している。 対策→購入された販売代理店へご相談ください。 |
| | 原因：過昇温防止装置が作動している。 対策→過昇防止エラーが表示されています。温度が十分下がったことを確認の上、庫内状況など異常が無いことを確認ください。その後、いずれかのキーを押すとエラーが解除されます。正しい過昇防止温度に再設定してください。（十分温度が下がらないとエラーは解除されません。） |
| 電源が入らない。 | 原因：電源が来ていない。 対策→元電源を確認してください。（根元のブレーカーも確認してください。） |

■停電時の復旧について

本製品は停電などによって電源が落ちた場合、運転を停止します。

停電復旧後運転を再開させるには、ブレーカ ON 時、RDY モードが表示されますので、再度操作を行い稼働させてください。

（停止した際、運転状態は保持されません。最初からの再開になります。）

なお停電の際には、場合により（特に落雷など）制御基板の信号ラインに過電圧等が印加されることにより故障する場合があります。機器が正常に動作しない場合には修理対応となります。

廃棄について

本製品を廃棄される場合、法律や市町村の条例に定める廃棄方法に従って、廃棄してください。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、無断で廃棄されますと違法行為となり、罰則が課せられます。

廃棄時に注意が必要な物質について（代表例）

| 有害物質 | 使用 / 不使用 |
|--|----------|
| アスベスト（石綿）、フロン類、PCB（塩化ビフェニル）、RCF（リフラクトリーセラミックファイバー）、鉛 | 不使用 |

製品保証について

保証書

本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に右記保証規定（1）に基づく正常な使用状態での故障の節は右記保証規定により修理いたします。

| | |
|--------|---|
| 品名 | インキュベーター（プログラム仕様） |
| 型式 | EIP-300V, EIP-450V, EIP-600V, EIP-700V |
| 機番 | |
| 保証期間 | お買い上げ日より1年間 |
| お買い上げ日 | 年 月 日 |
| お客様 | 様 |
| ご住所 | TEL : |
| 取り扱い店名 | 担当者印 |
| 住所 | TEL : |

アズワン株式会社

〈保証規定〉

- 弊社商品を、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは、当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び使用条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。
- 次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
 - 誤使用、不当な修理・改造による故障。
 - 本品納入後の移動や輸送あるいは落下等による故障。
 - 火災、天災、異常電圧、公害、塩害等外部要因による故障。
 - 接続している他の機器が原因による故障。
 - 車両・船舶等での使用による故障。
 - 消耗部品、付属部品の交換。
 - 本保証書の字句を訂正した場合、購入年月日・購入店の記入がない場合、及び保証書の提示がない場合。
- ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦頂きます。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

アズワン株式会社

■商品についてのお問い合わせは

カスタマー相談センター

TEL 0120-700-875

問い合わせ
専用URL

<https://help.as-1.co.jp/q>

■修理・校正についてのお問い合わせは

修理窓口

TEL 0120-788-535

FAX 0120-788-763

問い合わせ
専用E-mail

repair@so.as-1.co.jp

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません。

2021年9月 第4版
Made in China